



練馬地域福祉
ハートフルアクターズ

大泉学園まちづくりネット
(O・M・N)



PART 2 助成事業審査のポイントとは？

<審査のポイント>

1. 「福祉のまちづくり総合計画」との整合性 (企画提案の目的と基本方針の一致)
2. 公共性 (地域への貢献度、ユニバーサルデザインの視点)
3. 創意工夫 (地域独自の資源の活用、新しいアイデア)
4. 多様な人との連携 (地域の複数組織との連携、多様な区民の参加)
5. 福祉のまちづくりの普及 (活動の発展性、他の地域への普及効果)
6. 実現性 (計画性、人材・資金の確保、地域合意)

審査員のみなさんの講評



委員長
中野 泰志
慶應義塾大学教授
東京大学客員教授

今回の審査はまちづくりにつなげていくための一つの議論の場であり、通すための審査を心がけてきました。審査の基準は どれだけ大切なテーマか、そしてどれだけ多くの人に伝わるか 実現可能な計画になっているか 計画の結果、明確なアウトプットがあるかどうか ~ のポイントを整理していかにかアピールするか。お互いが協力しながらいい企画を練り上げてほしいです。そしてこの支援事業を盛り上げてほしいと思います。



副委員長
饗庭 伸
首都大学東京
都市環境学研究室

公開審査会には「団体と審査会が一日を会場で共有して、お互いに高めあってほしい」という意図があります。そのため、「どうやったら通るかを皆で考える審査」をしました。この支援事業をPRしながら活動していただけるとこの制度も育っていくと思います。



関 和子
NPO法人練馬ぼぼらん
副理事長

はじめてということもありテーマを盛り込みすぎている印象を受けました。来年はテーマを絞って実現性のあるものがでてくるといいですね。今後どのように個々の取り組みが繋がっていくかに期待しています。



千葉 勝恵
NPO法人手をつなご
理事長

はじめて審査員を経験させていただき熱い思いが伝わってきました。練馬区の中にこのような盛り上がりがあることに本当に感動しました。



仲倉 重郎
練馬区身体障害者福祉協会
副会長

審査は、活動がまちにどれだけ還元されるか、まちへの広がりをもてるか、そして障害があってもなくても、いかに連携できるかという観点で参加しました。



室地隆彦
練馬区環境まちづくり事業本部
まちづくり調整担当部長

施設整備は目的が明確だが、活動助成はソフトな話を短期間で検討されたということで大変だったと思います。また今後プレゼンテーションにも慣れていかれることを期待しています。



榎本博夫
練馬区健康福祉事業本部
福祉部長

事務局としての観点も含め審査しました。大変短い期間で企画を練り上げていただき感謝しています。今回助成対象にならなかった団体も、今後地域の福祉のまちづくりに協力していただきたいと思っています。

公開審査結果一覧

審査段階	プロジェクト名	提案グループ	審査	得点	助成決定	申請額(円)	
						申請額(円)	決定額(円)
1つのステップ	1-1 商店、事業者のまちの福祉環境の関心度調査	練馬まち環境倶楽部	1次	●●●●●●	☆	5万	5万
	1-2 ガイド・点字ボランティア学習	ボランティアサークル二三会	1次	●●●		5万	5万
	2次	○○○○	☆				
	1-3 ハートフルなふれあいタウンサンツ中村橋	サンツ中村橋商店街振興組合活性化委員会	1次	●●●●●●	☆	5万	5万
地域活動	1-4 みんなが喜ぶ街の駅	NPO さららと障害者によるコンソーシアム	1次	●●●●●●	☆	5万	5万
	2-1 心と体のやすらぎを街へ広げるプロジェクト	にんじんサポート・ネットワーク	1次	●●●		30万	15万
	2次	○○○○	☆				
	2-2 モビリティマネージャーの養成	NPO 法人移動支援フォーラム	1次	●●●●●	☆	30万	30万
	2-3 桜台からくらマップ	アイエヌエイ桜台チーム	1次			30万	—
	2次	○					
	2-4 身近な暮らしの安心・役立ち情報「宅配」プロジェクト	NPO 法人点訳・音声訳集団一步の会	1次	●●●		30万	20万
	2次	○○○○	☆				
	2-5 地域寄席「北町亭」	練馬北町で寄席を楽しむ会	1次			25万	—
2次	○○						
設備整備	3-1 いやしと思いやり ベンチと花でまちが公園づくり	練馬地域福祉ハートフルアクターズ	1次	●●●●●●	☆	20万	20万
	3-2 学園版ボランティアスポットの発足	大泉学園まちづくりネット (O・M・N)	1次	●●●●●●	☆	44万	44万
	3-3 まちなか「ほっとベンチ」設置	おとり様商店会ひと休み研究会	1次	●●●●●●	☆	94.35万	90万

審査結果

いやしと思いやり ベンチと花でまちが公園づくり

練馬地域福祉ハートフルアクターズ/申請金額: 20万円

高齢者、障害者のための「思いやりベンチ」を

駅や商店街などに行く途中で高齢者や障害者が立ち止まっている姿をよく見受ける。そこにベンチがあればちょっとひと休みしてまた目的地に向かうことができる。石神井地区は高齢者が多いがまちにベンチが少く困っている人も多いため、この問題を解消していきたい。

街を公園に・はじめの一步「花を飾ったベンチ」

また石神井公園駅は「公園」という気配が感じられない。

そこで、まち自体を公園のようにもっていきたい。そのはじめの一步として、まちに花を飾ったベンチを置くことを考えた。今まで育んできた人間関係をつなげ、地域のみなさんと一緒に進めていきたい。

Q 花のメンテナンスにはどのような人が関わるか決まっているか。また、園芸農家の人とのタイアップなど考えているか。

A 園芸農家、花屋で働く人とのネットワークを活かして花を調達したい。またまちでは、「花が身近にあったらうれしい」、「みなさんと一緒にあればできる」という声も多くある。

学園ボランティアスポットの発足

大泉学園まちづくりネット (O・M・N) /申請金額: 44万円

空き店舗を利用して地域福祉の拠点づくりを

大泉学園町には障害者関係の施設が多く、イベントやお祭りが多く行われている土地柄。地域福祉を考える会が誕生し、まちの安全・安心や情報発信など、さまざまな課題が検討された。その中から今回は、商店の空き店舗を利用した、地域情報の発信や福祉ショップとしての場所づくりをしたい。当面の管理運営は週

2回の開設で障害者施設の職員と利用者、区民が協働して行う予定である。

Q 経費や地域の人の巻き込み方についてはどう考えているのか。

A 空き店舗については無料で借りる事ができた。メンバーの方とはやりたいことをいろいろ話し合っているが、現実的な開所時間で始めて、今後拡大していきたい。

まちなか「ほっとベンチ」設置

おとり様商店会ひと休み研究会/申請金額: 94万3500百円

みんなにやさしいベンチを商店街に設置

練馬駅南口の商店街において、地域内の障害者施設、子育て支援施設と連携し、障害者やお年寄り、妊婦さんなどが一休みできる場所(ベンチ)を設置したい。ベンチの背もたれカバーには障害者や子どもたちに絵・イラストを描いてもらうことにより、親しみをもってもらおう。将来は手作りベンチ教室も地域の神社などで行いたい。

Q ベンチの置場には承諾を得ているのか。

A いくつかの商店から内諾を得ている。

Q この提案は障害者施設、子育て支援施設とは一緒に参加してまとめあげているのか。

A 三者と一緒に話し合っていないが、それぞれ連絡しあっている。

おとり様商店会
ひと休み研究会

パートナーシップ 活動助成部門 (設備整備)